

## セルラス新メンバーの声 PART3

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人『多言語広場 CELULAS のメルマガ』第 22 号

2/28(日)は東京マラソンでした。

私はセルラスメンバー有志と多言語ボランティアをやってきました。

日本人でも外国人でも話しかけ、日本語でも他の言葉でも、あったけのものでたくさん話しました。

人にどんどん話しかけている自分がいてびっくり。ボランティア、楽しかったです。

こんな体験を重ねて東京オリンピックに臨みたいですね。

セルラスでは機関誌『CELULAS (セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

◇◇ セルラスに入会して ～新メンバーの声～ ◇◇

2月、関東各地で多文化教育セミナーが開催されました。

寒い中、連日沢山の方にご参加いただきました。オープンセルラス(体験会)での新しい出会いに、

メンバー一同ワクワクしています。

今回は、入会して3か月のメンバー、宮川さんの声をお伝えしたいと思います。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第22号の目次です。

---

### 【目次】

#### ＜1＞ 新メンバーの声

東京都杉並区在住 宮川さん (家族構成:夫、娘1才5か月)

※高校の英語の先生を退職してアメリカへ留学、卒業後もアメリカで就職、13年間在住。

#### ＜2＞ セルラスインフォメーション

---

#### ＜1＞ 新メンバーの声

東京都杉並区在住 宮川さん (家族構成:夫、娘1才5か月)

##### Q1. なぜ、セミナーを聞きに行こうと思いましたか？

セルラスには以前から興味がありました。

ある子育てグループで知り合った方がセルラスの会員で、

ブログでピアザやサマーキャンプの様子などをアップしていたのを読んで、

いつか体験会に行ってみたいと思っていました。

たまたま児童館でセミナーのチラシを見つけ、家の近くだったので軽い気持ちで参加しました。

私は娘が成長していく中で、当たり前のように色々な言語が飛び交い、

多様な価値観をもった人に触れ合う場を経験させてあげたいと思っています。

私自身20代半ばで渡米し英語を身に着けたので、英語の早期教育には

それほど必要性を感じていません。

むしろ、母国語での思考力や基本的なコミュニケーション力(違う意見に耳を傾けられる、

相手を思いやりながら自分の考えを言葉で伝えられる)、

プレゼン力(人前で話し慣れている)が、第2言語習得には大事だと思っています。

アメリカで仕事をしていた際、多くの優秀な駐在員の方と一緒しました。

残念ながら、中には日本語でもまともに挨拶できないような人もいました。

すれ違う時は下を向いてとにかく目を合わせない、挨拶をしても無反応。

とても優秀な技術者でしたが、語学力以前に人としての常識のなさを感じ、

とても残念に思いました。

反対に、ブロークンイングリッシュでもどんどん周囲の人に話しかけ、

いつも輪の中心にいる人もいました。

海外に出ると、日本の学歴や会社名ではなく、その人自身の人間性がとても

大切なんだとつくづく思いました。

娘には、多くの人に触れ合い、相手を受け入れ自分を表現する場をもってほしいと思っています。それには母である私自身がそうでありたいですし、娘と一緒にその過程を共有していけたらと思っています。そしてセルラスがそういう場になるかとも思い興味を持ちました。

## Q2. セミナーを聞いて、オープンセルラス(体験会)に行ってみようと思った決め手はなんですか？

講師の話に共感できる部分が多々ありました。

表面的な語学力ではなく、人間としての土台を大事に考えるセルラスの理念にとっても共感しました。

また、ピアザのメンバーが、小6の息子さんについて話して下さった体験談が素晴らしく、体験会に行ってみようと思いました。

(息子さんが、『ぼく、もしも学校でいじめられたりしても大丈夫だよ。だって世界は広くて、まだ会ったことのない人がたくさんいるってわかるから。』と言っていたという内容でした。なんてステキな考え方だろう！と感動しました。)

## Q3. 体験会后、入会しようと思ったのはどんなことからですか？

### 『違いは宝物』

娘が幼いので他の方の迷惑になるのではと心配しましたが、コーディネーターの方が、娘(当時1歳2か月)のような若いメンバーがいることで他のメンバーにとって、とてもプラスになる、と言ってく下さったのは大きかったです。

娘が愚図って大変な時もありますが、『違いは宝物』という言葉にいつも励まされ、ピアザのみんなに本当に助けられています。

また、体験会でロールプレイをした際、小学生の男の子がグループにいたのですが、普段小学生と触れ合う機会は全くなく、とても新鮮でした。

彼らの思春期の様子にどう対応したものかと戸惑うこともあります(笑)、違いから学ぶものがたくさんあるし、相手が生身の人間だからこそ面白いというか、学べるものがたくさんあると実感しました。

### 『ロールモデル』

娘にとって、少し年上でロールモデルとなるようなお兄さんお姉さんがいることは親として心強いと思いました。サマーキャンプなどで青少年教育に力を入れているだけあって、ジュニアリーダーの中学生を始め、ピアザの子どもたちはそれぞれ個性的でしっかりしています。この中で子どもを育てていきたいと思える環境でした。

また、ピアザを上手にまとめ、セルラスの活動を心から楽しんでいるコーディネーターは私のロールモデルでもあります。以前お話した時に、昔から今のような感じであった訳ではなく、活動を通して小さな成功体験を重ねることでそうなっていったと聞き、

私もこれから、もっとコミュニケーション力を磨いたり、リーダーシップを発揮していけるようになりたい！と励まされました。

### 『子どものプレゼン』

体験会のプレゼンで、中学2年生の女の子が、『自分はその人がどこから来たかって気にしない。出身国などに関係なく〇〇さんってその人そのものを見るから、どの国から来た人でも同じように仲良くなれる』と言って、これまたなんてステキな考え方だろう！と感心しました。

こういう考え方を育ててくれるのは、素晴らしい活動の賜物だと思いました。

## Q4. 入会して、今の感想とこれからの活動への期待はなんですか？

ストーリーブックが届いてすぐ日本語に目を通しました。

読み終えた後には、自分が大冒険を終え、一回り大きくなったような充実した気持ちになりました。とても質の高いストーリーブックだと思います。

シャドーイングはとても難しく、口がなかなか回りませんが、それでも何回か繰り返すとなんとか似たような音を出せる気がするので、とにかく繰り返し取り組んでいきたいと思っています。

これからの活動への期待ですが、上記の理由に『ロールモデル』を挙げているように、ピアザを通して大人が子どもたちのロールモデルとなるいい機会だと思います。

大人がワクワクして楽しんでいる姿を見せることで、『大人って楽しそうだな』と子どもたちに思ってもらいたいです。

-----

小さなお子さんを連れて夕方16時半からのピアザに通っている宮川さん、  
お子さんの体調やご機嫌を見ながら、是非いろいろなピアザを覗いてみて、  
これからの活動をますます楽しんで下さいね！

---

## 《2》 セルラスインフォメーション

### ◆ 2016年 多文化教育セミナーのお知らせ ◆

#### ◎関東セミナー

好評のうちに終了致しました。

ご参加ありがとうございました。

#### ◎関西セミナー

後日詳細を掲載いたします。もうしばらくお待ちくださいませ。

### ◆ セミナリオ ◆

セルラスのセミナリオとは、毎年新年度に、これからの活動の方向性と旬の楽しい話題を共有するために  
ピアザを越えてメンバーたちが集う楽しい行事です。お子様も一緒に楽しめます。お申込みの上どなたでも参加できま  
す。

#### ◎セミナリオ 2016 関東

4/17(日)午後 恵比寿にて

#### ◎セミナリオ 2016 関西

4/24(日)午後 尼崎にて

詳しくは本部事務所まで⇒ 03-5333-8202 E-mail:[info@celulas.or.jp](mailto:info@celulas.or.jp)

\*\*\*\*\*  
このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味  
を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行していま  
す。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。